

痛風・高尿酸血症及び尿酸関連疾患の病態解明に関する研究

1. 研究の対象

平成23年(2011年)9月以降に当院または本研究の共同研究機関で痛風・高尿酸血症・尿酸関連疾患(高尿酸血症、低尿酸血症、尿酸が病態に関連する可能性のある疾患)の診断または治療を受けられた方、またはそのご家族及び対照者(それらの疾患のない比較対象者)を対象とします。

2. 研究目的・方法・期間

【研究目的】

痛風は高尿酸血症(血液中の尿酸値の高い状態)に引き続いて引きおこる生活習慣病の1つで、激痛を伴う関節痛や、尿路結石を引きおこすのみならず、高血圧、腎臓病、虚性心疾患、脳卒中などのリスク因子となることが知られています。痛風、高尿酸血症ともに、環境要因のほか遺伝要因の関与が強いことが分かっていますが、その全容はいまだ明らかではありません。そこで、本研究では、痛風と高尿酸血症や尿酸関連疾患の遺伝要因を明らかにして、その病気の仕組みを明らかにすることを目的として実施します。これにより、個人の疾患リスクの判定や、効果的な新しい予防法や治療法の開発に結びつくことが期待できます。

【研究方法】

研究への参加協力にご同意いただき、血液を通常の方法で約7-20mL採血します。採血に伴う危険は殆どありません。血液などの検体に含まれるDNAやRNAという物質を取り出し、遺伝子の構造を解析します。調べる対象は、現在明らかになっている痛風の主要な病因遺伝子を含め、関係する可能性のある数多くの遺伝子です。

近年、技術革新が進んだことにより、ゲノム全域の多様性について病気との関わりを調べることができるようになりました。ゲノム全域の多様性の解析については、共同研究機関である久留米大学、国立遺伝学研究所等で主に解析され、共同研究として実施します。

防衛医科大学校で遺伝子解析の多くが実施され、検体も責任を持って保管されます。

将来、検体を医学研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理審査委員会の承認を受けます。

【研究期間】

本研究は平成23年9月から令和14年3月にかけて行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では血液を約 7-20 mL 程度採血します。また、必要に応じて尿を 10-20 mL 採取します。合わせて、生年月日、病歴、治療歴といった臨床情報等を収集します。

4. 研究に用いる試料・情報の管理についての責任者

研究に用いる試料・情報の管理についての責任者は研究責任者が兼ねています。

5. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

防衛医科大学校 松尾洋孝 ほか（詳細は以下の防衛医科大学校分子生体制御学講座公式ホームページ <http://ndmc-ipb.browse.jp/> をご参照ください）

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方（未成年の場合は親権者又は未成年後見人）にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校 分子生体制御学講座

松尾洋孝（研究責任者）（研究代表者）

Tel: 04-2995-1482 Fax: 04-2996-5187